

2018年2月21日

全国の諸教会・伝道所の皆様

東日本大震災 現地支援委員会
金丸 真

「2018年3月11日 東日本大震災から7年を数えての祈り」の送付について

主の御名を讃美いたします。

これまで東日本大震災現地支援委員会の働きを覚えて祈ってくださり、そして、現在も支えてくださっている皆様に、心から感謝いたします。

東日本大震災から7年が経とうとしています。あの震災で15,894人の命が失われ、2,546人の行方は今もわかりません。震災関連死は3,647名に及びました。今や故郷の風景は変わり、地域のコミュニティーも変わってしまいました。大量の土で嵩上げ作業がなされ、造成された高台に復興住宅が立ち並び、新たにされていく様子に喜びつつも、心の片隅では言いようもない喪失感が消えません。世界中の方々の祈りと支援に心打たれ感謝しながら、一方ではこの被災地の変化があつた出来事を風化させてしまうことになりはしないかと懸念を抱き、自分が生きていて本当に良かったのか迷いながら、それでも生かされた意味を問い続け、「あの日、あの出来事」を必死に語り続ける人たちがいます。

現在、東北では、耐用年数2年ほどのプレハブ式仮設住宅に未だ15,581人の方々が暮らしておられます。この7年の間、仮設住宅から仮設住宅へと引っ越しを余儀なくされた挙句、復興住宅に移れないまま狭い部屋で孤独に亡くなった方もおられます。東京電力福島第一原発事故により政府が発表した非常事態宣言は未だに解かれておらず、今も77,436人が避難しています。福島では今日も各地の放射線量測定値の情報、食物のセシウム検知数が紙面に掲載されています。にもかかわらず、他方ではいつの間にかこの出来事がなかったかのように隅に置かれ、環境破壊や健康被害に関する激しい警鐘の音は、今や強引に塞がれているかのようです。

東日本大震災と原発事故の風化が叫ばれている中、現地支援委員会では、ぜひ全国の皆様に現地の状況と、現地の思い、そして現地の祈りを共有していただきたいとの願いから、「2018年3月11日 東日本大震災から7年を数えての祈り」を作成しました。今回は、田中信矢牧師の祈りの原案をもとに、委員会で作成し、出合い協議して祈りを紡ぎ出しました。どうか全国の皆様にもこの現地の祈りに心を合わせていただきたいと願っています。

貴教会・伝道所の歩みの上に、主の祝福と恵みが豊かにありますように、心からお祈りしております。皆様のご支援に心から感謝して。

在 主

2018年3月11日 東日本大震災から7年を数えての祈り

東日本大震災現地支援委員会

田中信矢（南光台教会）

2011年3月11日。「あの日」突然、あまりにも大きな悲しみと死がやってきました。千年に1度と言われるマグニチュード(M) 9.0の大地震が東日本列島を襲い、巨大津波によって未曾有の大災害がもたらされました。「あの日」から7年。被災地では1日たりとも震災や原発事故関連の報道が途絶えたことはありません。主よ、どうか被災された方がた、今も困難の中にある方がたを顧みてください。私たちはすべてをご存知である主のみ前に出て祈ります。

万物の造り主よ、み名をあがめさせてください

私たちに生涯の日を正しく数えることを得させてください。主は光と闇、禍も平和も創造されるお方です。どうか、悲嘆の日々と、苦難に遭わされた年月を思って喜びを返し、主を呼び求める私たちに、すべてにまさる貴いみ名を賛美する心を授けてください。

主イエスよ、み国を来たらせてください

私たちは知らされました。目に見える復興はあっても、目に見えないところで置き去りにされている方がたの計り知れない心の痛みを。災害を通して浮き彫りになった日常では差別があり分断がありました。また、経済優先の権力下で地球環境の破壊、人災がありました。被造物は共に苦しみ、呻いています。和解をもたらす主よ、義と愛による神の支配、キリストの平和をこの地に来たらせてください。

聖霊なる神よ、み心を行わせてください

どう祈ったら良いかわからない私たちを助けてください。そして神のみ心に従い、言葉に表せない切なる呻きをもって執り成してください。助け主よ、命の息吹を私たちに送り、勇気と力を与え、この地に主のみ旨がなるようにしてください。

命の主よ、今日の糧をお与えください

悲しみと痛み、苦悩を抱えながら7年の日々を耐え忍び、亡くなった人たちの分まで必死に生きようと歩んでこられた方がたに慰めを与え、確かな望みをお与えください。放射能のために住む場所を追われている人たち、原発の事故による諸々の処理に働く人たちを今日も助け、お守りください。また子どもたちを放射能による健康被害からお守りください。願わくは、二度と事故が繰り返されぬよう必要な体制が整い、収束が早まりますように。復興住宅に移って多重の負債を抱え、コミュニティが失われ、再び孤独の中に置かれた人たち、未だに仮設住宅で暮らす人々を覚えます。どうか必要な心の支えが得られますように。真実なる主よ、私たちの心を研ぎ澄まさせ、この日、見るべき事実を見、今日聞くべき声を聞き分けさせ、隣人と共に生きる力と糧をお与えください。

あわれみ深い主よ、私たちの罪を赦してください

私たちの驕り、エゴ、むさぼり、破壊、無関心をお赦してください。私たちは尽きることのない欲望の虜とされ、経済発展と利便性に幻惑されるまま権力に溺れ、禁断の核を操ろうとして自ら堕ちました。にもかかわらず、その教訓を早くも忘れ、恵みを反故にし、傲慢にも繰り返す過ちの道に突き進んでいます。罪からくる報酬は絶望にすぎません。世の罪を除く今もなお十字架にあるキリストよ、私たちをあわれんでください。

復活された希望の主よ、私たちに試みにあわせず、悪からお救いください

私たちが絶えず導いて道を示し、他者の痛みを顧みずに真実を遠ざける心から守ってください。為政者をはじめ、この国が再び罪と過ちの濁流に呑みこまれることから救い出し、とこしえの義の道を歩ませてください。

変わる事のない愛の主よ、国と力と栄えとは限りなく主のものです

この地にあるものすべては主のみ手のうちにあり、私たちは主のものです。これまで共にあって導き、私たちを背負ってくださったことを感謝いたします。もし私たちの働きが被災された方がたの励みとなったのであれば、栄光をお帰しいたします。私たちは信じます。死も命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低いところにいるものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、私たちを引き離すことはできないことを。主よ、今後も主の慈しみとまことに依り頼み、変わる事のない主のみ言葉に私たちを委ねます。私たちは信じます。命あるものの地で主の恵みを見ることを。私たちの魂よ、主を待ち望め。

この尽きない祈りを被災された方がたと共にある十字架と復活の主、キリスト・イエスのみ名によって祈ります。

アーメン

(参照聖句／詩編 90:12,15,イザヤ 45:7,ローマ 8:22,8:26,8:38-39,マタイ 6:9-13, 詩編 139:24,詩編 27:13-14 他)